

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	ハンドルータ SHR-300		お買い上げ日	保証期間
			平成 年 月 日	1 年
お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電話	()		
販売店	住所名	店名 ()		

上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談下さい。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

SHINKO 株式会社 新興製作所

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600

ハンドルータ SHR-300 取扱説明書




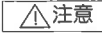
二重絶縁


このたびはハンドルータをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。
お読みになったあとは必ず保存してください。

注意文の 警告 注意 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 注 : 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

警告

1. 作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
 - ・作業中、本機に取りつける工具の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
 - ・作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

2. 作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
 - ・ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
 - ・暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生することがあります。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
 - ・可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、作業場の近くには置かないで下さい。
- 作業場は作業員以外は近づけないで下さい。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
 - ・作業場の近くに作業員以外の人がいる、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないで下さい。
 - ・感電の恐れがあり大変危険です。

⚠ 警告

3. 電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
 - ・表示を超える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認下さい。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

4. 取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業して下さい。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切して下さい。
 - ・スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、本機にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具が確実に付いているかをご確認下さい。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。
 - ・ネジがゆるんでいたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具を交換したときは3分以上試運転をして下さい。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させて下さい。
 - ・試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で本機を改造したりしないで下さい。
 - ・規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部（工具の作動部）には絶対に触れないで下さい。
- 本機の点検、掃除、工具（のこ刃等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。又、作業が終わりましたら必ず電源プラグを抜いて下さい。
 - ・スイッチ、電源プラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出して下さい。
 - ・異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないで下さい。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意して下さい。
 - ・コードが損傷しますと危険ですので直ちに交換をしてご使用下さい。
- 工具（スパナ、ネジ回し等）は、運転前に必ず本機から取り除いて下さい。
 - ・工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないで下さい。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工して下さい。
 - ・加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないで下さい。
 - ・不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機の能力を超えた無理な作業はしないで下さい。
 - ・能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5. 手入と保管について

- 常に本機の手入に心がけ、長期間安全にご使用下さい。
 - ・使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用下さい。
 - ・切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モーターに負荷が多くかかり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をして下さい。
 - ・修理、点検は販売店、又は当社にお申し付け下さい。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管して下さい。

Ⓜ前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります

部品名称

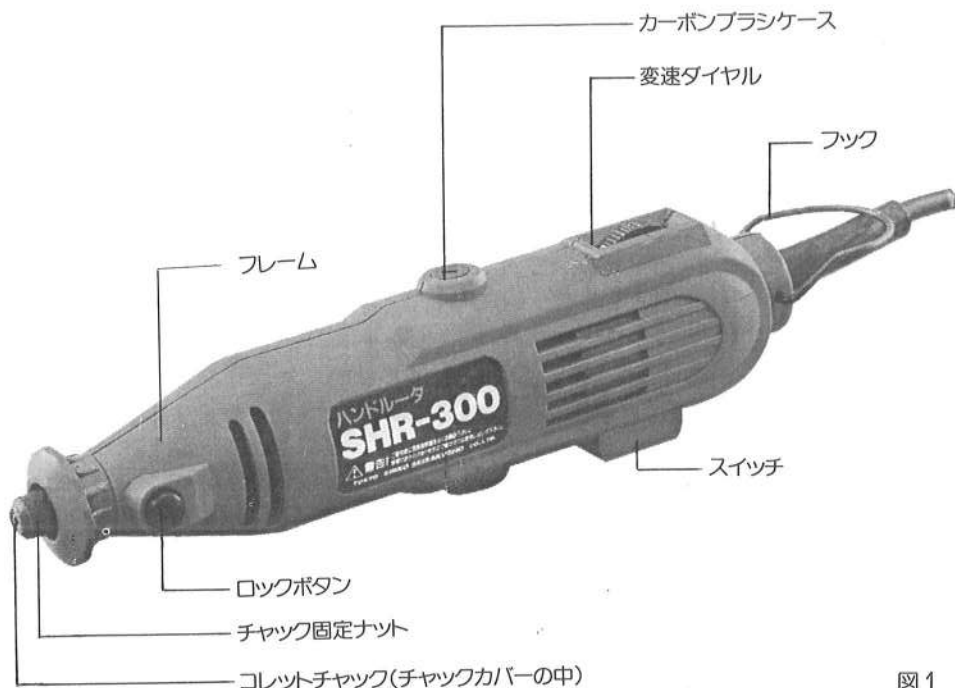


図 1

仕様明細

形 式 名	SHR-300		
電 源	100V	回 転 数	8,000~25,000r/min
周 波 数	50/60Hz	チャックの寸法	軸の径2.35mm用(白)、3mm用(黒)
消費電力	100W	機体の寸法	巾 63% 高さ47% 長さ 220%
消費電流	1.1A		
定格時間	20分	重 量	0.65kg
絶 縁 方 式	☐ 二重絶縁	電源コード	2m

※本機は改良のため、予告なしに仕様を変更することがあります。

付属部品(先端工具)の明細

ハイスビット 木、アルミ、鉄 真鍮、プラスチック (軸の径2.35mm)	101		ディスクペーパー	501	
	102				
	103				
ダイヤモンドビット ガラス、陶器、石用 (軸の径2.35mm)	201		ディスクペーパーの支柱 (軸の径3mm)	1004	
	202				
	203				
ドリル (軸の径3mm)	木(白)	301	切断トイシ	502	
	鉄(黒)	302			
軸付トイシ (軸の径3mm)	401		ディスクトイシ	503	
	402		トイシの支柱 (軸の径3mm)	1005	
	403		ワイヤブラシ (軸の径3mm)	601	
			ナイロンブラシ (軸の径3mm)	602	
純毛バフ (軸の径3mm)	701		ロールペーパー (軸の径3mm)	801	
	702		ロールペーパー支柱 (軸の径3mm)	1006	
	703		コレットチャック (軸の径2.35mm用・白色) (本機にセット)	1001	
トイシ	901		コレットチャック (軸の径3mm用・黒色)	1002	
			スパナ	1003	

■ご注意

- 付属部品(先端工具)の軸の直径は2.35mm(白色)と3mm(黒色)の2種類があります。又、コレットチャックも軸の径2.35mm用と3mm用の2種類があります。
- 使用する先端工具が決まりましたら、軸径に合ったコレットチャックを本機に差し込み、セットしてください。

☐コレットチャック軸径3mm用に軸径2.35mmを差し込みますと正確にセットできません。又、コレットチャックをいためます。軸径2.35mm用に軸径3mmは入りません。

操作方法

■電源の接続とスイッチの操作

⚠ 警告

- 電源プラグを電源に接続するときは、必ずスイッチが切れていることを確認してください。不意に始動してケガの原因となります。
- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用しますと、回転が異常に高速となり、ケガの原因となります。
- 使用後や、先端工具の交換、点検等の際はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- 電源プラグはスイッチが切れていることを確認してから、電源コンセントに確実に差し込んでください。

Ⓜ電源プラグが確実に差し込まれていないとき、延長コードを長く使用しているときは正常な回転はしません。

- スイッチは①印のついた方を押すと入り、②印のついた方を押すと切れます。(図2参照)

■速度調整について

- 円形のダイヤルに①～⑥の表示がついています。①は低速で⑥は高速になっています。(図3参照)
- 先端工具には最高対応回転数があります。表2をご参照の上、その範囲内でご使用下さい。

Ⓜ最高対応回転数を超えてご使用になりますと事故の原因となります。

- ご使用のときは本機に先端工具をつけ、最初は低速回転でテストを行ない、安全を確認の上、回転数をあげながら能率のよい回転数でご使用ください。

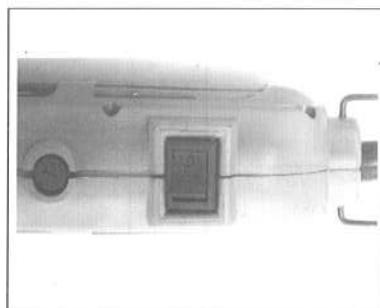


図2

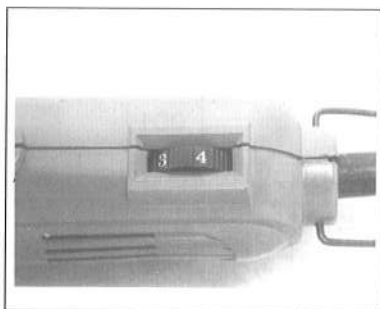


図3

●先端工具とダイヤルの位置(目安) (表2)

		最高対応回転数(r/min)	ダイヤルの位置(目安)	
ハイスビット		101、102、103	25,000	3~5
ダイヤモンドビット		201、202、203	25,000	3~5
ドリル	鉄	301	25,000	3~5
	木工	302	25,000	3~4
軸付トイシ		401、402、403	25,000	2~4
ナイロンブラシ		602、603	15,000	2~3
純毛パフ		701、702、703	15,000	2~3
ディスクペーパー		501	15,000	3~4
切断トイシ		502	25,000	3~4
ディスクトイシ		503	20,000	3~4
ワイヤブラシ		601	15,000	3~4
ロールペーパー		801	15,000	3~4

先端工具の取付、取り外し

⚠ 警告

- 先端工具の取付け、取外しの際はスイッチを切り、必ず電源コードを電源プラグより抜いてください。不意な始動によるケガの原因になります。
- 必ず指定の純正品もしくは同等品の先端工具をご使用ください。異なるものを使用すると、過負荷からモーター焼けなど故障の原因になるだけでなく、ケガの原因になります。
- 作業に入る前には必ず試運転をしてください。
- スイッチを入れる前にはスパナなどの工具を必ず取外してください。また、ロックボタンが戻っていることを確認してからスイッチを入れてください。
- 先端工具などは取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと、はずれたりし、ケガの原因になります。

- 先端工具を取付けるときは、ロックボタンを押して、チャック固定ナットを回してゆるめ、先端工具を差し込んで、付属のスパナで締めつけてください。(図4参照)

- 先端工具を取りはずすときは、締め付けの逆にしてください。

Ⓜ先端工具を差し込まないで、チャック固定ナットを強く締め、長期間経過しますと、チャックの差し込み口の径が小さくなり、先端工具が入らないことがあります。このようなときは、チャックの切り込み溝のない方向から先端工具を差し込んで、穴の内径を元の大きさにしてから差し込んでください。

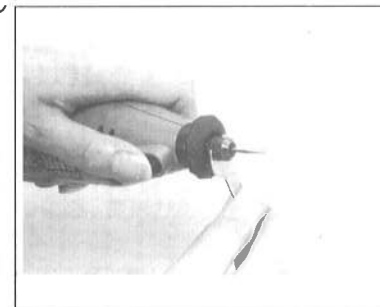


図4

- 本機には2.35mm用チャック(白色)がセットしてあります。3mm用チャック(黒色)は付属品としてつけてあります。使用のときは先端工具の軸径とチャックの内径を合わせてご使用ください。

Ⓖ2.35mm用のチャックには軸径3mmのものは入りません。3mm用チャックに軸径2.35mmのものは正確に取付けることができません。又、チャックが変形します。

コレットチャックの軸径	No	先端工具名
2.35mm(白色)	1001	ハイスビット(101、102、103) ダイヤモンドビット(201、202、203)
3mm(黒色)	1002	上記以外は全て3mm軸

- コレットチャックを入れかえるときは、チャック固定ナットを取りはずしてチャックを抜きとってください。
- 先端工具をセットするときは、チャックに先端工具を差し込み、ロックボタンを押してチャック固定ナットを回して仮止めをしてください。先端工具が正確にセットされていることを確認してからスパナで確実に締めつけてください。
- Ⓖ先端工具のセットが済みましたら、必ずスパナを取り除いてください。使用前に必ず試運転をおこなってください。

先端工具の組立について

ディスクペーパー(501)、切断トイシ(502)、ディスクトイシ(503)、ロールペーパー(801)の組立方法

⚠ 警告

- 切断トイシは、うすくて割れやすいので取扱いに十分注意してください。ヒビ割れ、欠けたものは絶対に使用しないでください。ケガの原因になります。
- 必要以上に締め付けると割れやすくなります。また、締め付けのゆるいものは、ケガの原因になります。軸への取付け後は、身体から離れた状態で、必ず試運転をしてください。

■ディスクペーパーの組立方法

- ディスクペーパー(501)の裏側の紙をはがすと、ノリがついていますので、ディスクペーパーの支柱(1004)に貼り付けてご使用ください。
- Ⓖディスクペーパーの接着面に粉じんが付着したり、長期間使用しますと、はがれやすくなります。このようなときは、新しいものに交換してご使用ください。

■切断トイシ(502)、ディスクトイシ(503)の取付方法

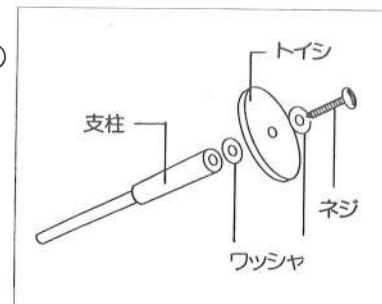
- トイシの支柱(1005)をチャックに差し込み、固定して先端のネジを取り除いてください。(Ⓖ6参照)
- 次にワッシャ、トイシ、ワッシャの順においてネジで締め付けてください。

Ⓖセットするときはトイシが水平に回るように調整してから、確実に締め付けてください。

■ロールペーパーの組立方法

- ロールペーパー(801)をロールペーパー支柱(1006)のゴム部へ差し込んでください。
- ロールペーパー支柱(1006)のゴムの先端についているネジを左に回すとゴムの外径が小さくなり、右に回すと外径が大きくなります。

Ⓖ使用中ロールペーパーが移動して支柱のゴムから抜けるおそれがありますので、正確にセットされているかを確認してご使用ください。



Ⓖ6

ご使用方法

⚠ 警告

- 巻き込み事故防止のため、手袋等の着用は絶対にしないでください。
- 目を保護する保護メガネを着用してください。また、切削、研削粉塵を吸込まないようにマスクを着用してください。
- 安全のため、長ズボン、長袖シャツを着用してください。
- 作業中は目を先端工具部分に近づけないでください。ケガの原因になります。
- 機体や先端工具に衝撃をかけますと、トイシにヒビが入ったり割れたりする恐れがありますので、取扱いには十分注意してください。
- 加工する材料は確実に固定してください。特に小さい材料を加工する場合は、バイス等で動かないように固定してください。加工材が不安定ですと、ケガの原因となります。
- 作業前に刃物の回転方向側に人がいないことを確認してください。また引火しやすいものは安全な場所に遠ざけてください。研削粉は火花となって飛散するので、火災ややけどの原因になります。
- 切断トイシ、使用の時は、本体をこじらずに、一定の角度を保って作業をしてください。本体をこじって使用しますと、トイシの破損によるケガの原因になります。
- 必要以上に押し付けしないでください。作業効率が悪いだけでなく、機械に余分な負担がかかり、故障や先端工具の変形、破損事故の原因となります。
- 万一機体を誤ってぶつけたり、落としたりしたときは、必ずトイシのヒビ割れや、機体に破損などが無いことを十分ご注意ください。破損や亀裂、変形があると、ケガの原因になります。
- 回転中は絶対にロックボタンを押さないでください。本体が破損してけがの原因となります。

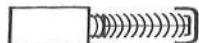
- 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、先端工具が確実にセットされているかを確認してください。
- 加工材をしっかり保持してください。小さいものはバイスで固定してください。
- スイッチを入れて、回転速度を調整してから作業を開始してください。
- 作業中、作業後も先端工具が熱くなっていることがあります。取りはずし、交換するときは、冷えたことを確認してから交換してください。
- 本機の定格は20分です。本機が熱くなったときは、作業を中断し、冷えてから作業を続けてください。

カーボンブラシの交換

- カーボンブラシケースのフタを取り除いてカーボンブラシを交換してください。
- カーボンブラシを交換したときは、正確にセットされていることを確認してください。

カーボンブラシの寸法

4 × 5 × 9 mm(長さ)



保守、点検

⚠ 警告

- 保守、点検、部品交換等のお手入れの前にスイッチを切り、電源プラグを必ず電源から抜いてください。ケガや感電の原因になります。

■使用後の手入れ

- 使用後は、粉塵などを取除いたのち、先端工具を取外して保管してください。
- 先端工具は乾いた布で軽く汚れをふき取るようにしてください。チャック部分には、サビ防止のため薄くサビ止め油を塗っておいてください。
- ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

■作業後の保管

- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。
- お子様の手のとどかない場所で、落下の恐れがないところに保管してください。

■修理について

本機についてのお問い合わせ、修理については、販売店または当社にご連絡ください。